

# 「表参道長野五輪メモリアルパーク」整備事業の概要

## 1 事業目的

セントラル・スクウェアは長野五輪の表彰式会場として、多くの感動と記憶を後世に伝える中心市街地の貴重な財産である。

長野五輪の表彰式に利用された仮設ステージが老朽化していることから、その解体・撤去に伴い、新たにポケットパークを中央通り沿いに整備し、五輪マークなどを移設する。

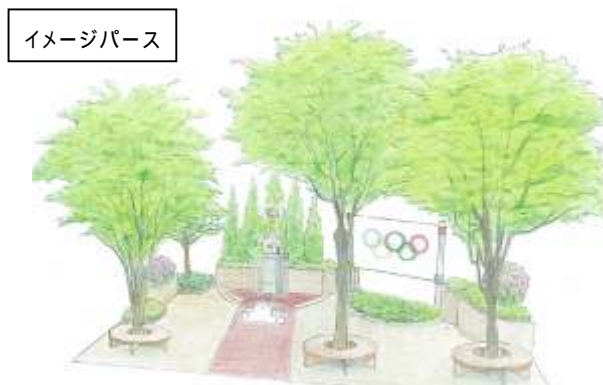
ポケットパークを買い物客や観光客など、来街者（歩行者）のための休憩場所や写真スポットとすることで、中心市街地での回遊性を高める。

## 2 事業概要

用途	ポケットパーク
面積	約 207 m <sup>2</sup> (23m × 9m)
施設概要	五輪マーク、聖火台、植栽 ベンチ、案内板等
総事業費	約 1,550 万円 (国補助 620 万円予定)
事業期間	平成 23 年度
事業場所	大字鶴賀字町屋敷



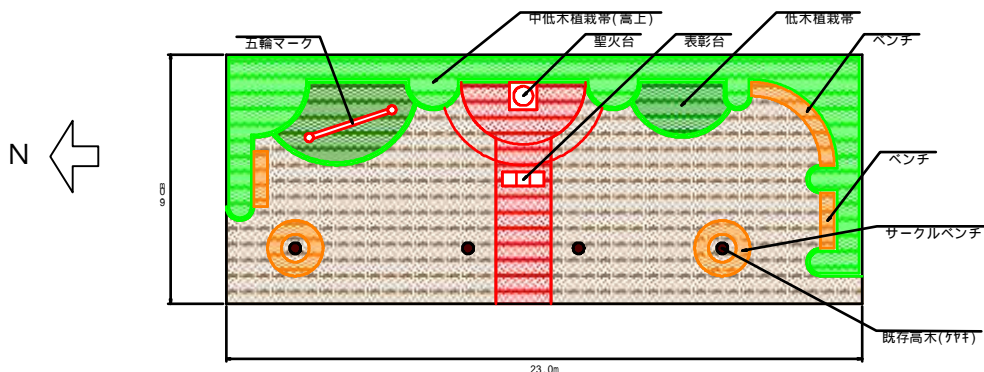
## 3 現況写真と予想図



ポケットパーク  
イメージ平面図

駐車場側から

中央通り側から



## 4 事業スケジュール

平成 23 年 10 月	事業用地取得
平成 23 年 11 月	工事着工
平成 24 年 3 月	工事竣工

## 「まちなか居住体験事業」について

### 1. 事業目的

#### (1) まちなか居住体験事業について

これまでのマンション建設による、まちなかの居住人口の増加を目指したものでなく、中心市街地内(主に善光寺界限)で、空き家の再生、まちの魅力の情報発信を得意とした民間団体と連携し、実際に一定期間居住体験をする仕組みを構築し、まちなかの暮らしに向けての不安解消と魅力を知ってもらい、地域コミュニティの再生を図りながら、まちなかの居住人口の回復を目指す。

### 2. 財 源

「まちなか居住体験事業」 予算 約 130 万円

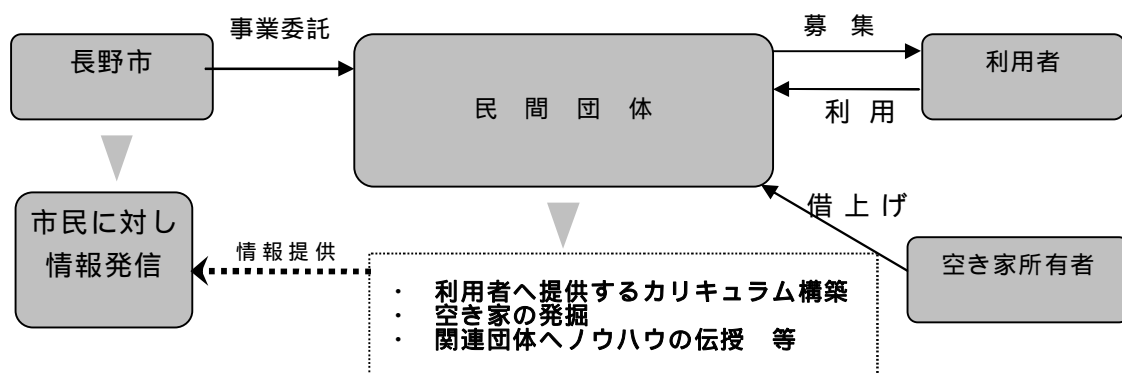
他 「社会資本整備総合交付金 効果促進事業」 約 30 万円の活用を予定。

### 3. 事業モデル(予定)

市が民間団体へ事業委託し、その民間団体が持っているノウハウを活かしつつ、一定期間まちなかで居住体験をする仕組みを構築する。

また、市は情報発信として、まちの魅力を主体としたホームページを開設し情報を提供する。

#### < 仕組みのイメージ図 >



### 4. 仕組み構築の進捗状況

既存ストック(空き家等)を活用した本事業は、地域と密着し、地元住民からの理解を得ることが不可欠となるため、長年善光寺界限で空き家の発掘等、地域コミュニティ活動を行い、地元からも信頼を得ている民間団体と、様々なアイデアを持ち寄り、詳細について検討を開始している状況。

また、事業実施にあたっては、保健所や関連諸団体とのすり合わせも必要なため協議を開始していく。

< 協議中の民間団体 > ナノグラフィカ ・ ボンクラ ・ ㈱まちづくり長野

## 5.基本計画と市民意識調査結果

### (1)最新数値とフォローアップ

平成 22 年度、最新数値

**最新値 (H22年度) 9,863人**

基準比 (H18年度) + 2.1%、+ 203人

前年比 (H21年度) + 1.1%、+ 108人

目標値 (H23年度)

10,900人

あと 1,037人

平成 22 年度、フォローアップ

「数値は増加しているが、住宅供給を見込んでいた優良建築物等整備事業が中止となり、今後の急速な景気回復も考えにくく、目標達成は困難と見込まれる。」

### (2)「まちなか居住促進調査報告書」による市民意識調査 (H18.1)

#### < 調査対象 >

まちなか居住者	1,000 人	51.8% (回収率)
郊外居住者	1,000 人	44.0% (回収率)
計	2,000 人	47.9% (全体の回収率)

#### < アンケート結果 >

- ・郊外居住者のうち中心市街地に住みたいと考える郊外居住者は約 2 割。
- ・年齢別では、30 歳代 3 割、各年齢層で 1~2 割存在。
- ・借家層で中心市街地に住みたいと考えている者の割合が高い。

#### < 住みたい理由 >

- ・普段の買い物の便 (49.1%)
- ・通勤通学の便 (38.8%)
- ・病院や福祉施設の充実 (30.2%)
- ・歴史や文化を感じる雰囲気・景観 (12.9%)

#### < 住みたくない理由 >

- ・騒音や大気汚染 (45.1%)
- ・広い庭付き戸建への憧れ (38.9%)
- ・購入価格や家賃が高額 (26.8%)
- ・公園、広場等が少ない (23.9%)
- ・防犯、治安面の不安 (15.4%)